

# プレタール OD 錠 50mg プレタール OD 錠 100mg

## 【この薬は？】

販売名	プレタール OD 錠 50mg Pletaal OD tablets 50mg	プレタール OD 錠 100mg Pletaal OD tablets 100mg
一般名	シロスタゾール Cilostazol	
含有量	50mg (1錠中)	100mg (1錠中)

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗血小板剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血液が固まるのを防ぎ、血管を広げ、血液の流れをよくして、足の痛みや冷え等の症状を改善する働きがあります。
- ・この薬は、脳梗塞の症状が落ち着いたあとの再発を抑える働きがあります。
- ・次の目的で処方されます。

### 慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性諸症状の改善 脳梗塞（心原性脳塞栓症を除く）発症後の再発抑制

- ・この薬は、体調がよくなったと自分の判断で使用を止めたり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、再発することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用中に脈拍数が増えることがあり、冠動脈疾患を合併している人では、狭心症（胸痛など）を引き起こすおそれがあります。[この薬の使用中に気をつけなければならないことは？]をよくお読みください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・出血している人（血友病、毛細血管脆弱症、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血など）
  - ・うっ血性心不全の人
  - ・過去にプレタール OD錠に含まれる成分で過敏症のあった人
  - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・月経期間中の人
  - ・出血しやすい人
  - ・冠動脈狭窄のある人
  - ・糖尿病あるいは耐糖能異常のある人
  - ・持続して血圧が上昇している高血圧（悪性高血圧等）の人
  - ・肝臓に重篤な障害がある人
  - ・腎臓に障害がある人
  - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	プレタール OD錠 50mg	プレタール OD錠 100mg
一回量	2錠	1錠
飲む回数	1日2回	1日2回

### ●どのように飲むか？

- ・この薬は、口の中で溶かして飲む薬です。舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液で飲み込みます。唾液だけでは飲み込めない場合は、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲み込んでください。
- ・この薬は寝たままの状態では、水なしで飲まないでください。
- ・グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。同時に飲むと薬の作用が強くなるおそれがあります。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。  
気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中に脈拍数が増えることがあり、冠動脈疾患を合併している人では、狭心症を引き起こすおそれがあるので、胸痛等気になる症状があらわれた場合は医師に伝えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・けがをしないように注意してください。出血した場合、血が止まりにくくなっています。出血が長引く場合やけがの範囲が大きい場合は、ただちに受診してください。
- ・手術や歯の治療などを受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



重大な副作用	主な自覚症状
うっ血性心不全 うつけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
狭心症 きょうしんしょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み
心室頻拍 しんしつひんぱく	めまい、動悸（どうき）、胸の不快感、気を失う
出血（脳出血等の頭蓋内出血、消化管出血、眼底出血、肺出血、鼻出血） しゅっけつ（のうしゅっけつなどのずがないしゅっけつ、しょうかかんしゅっけつ、がんでいしゅっけつ、はいしゅっけつ、びしゅっけつ）	出血、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐（おうと）、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る、視界の中に見づらい部分がある、視力の低下、目のかすみ、小さいゴミのようなものがみえる症状の悪化、咳と一緒に血が出る、鼻血
胃・十二指腸潰瘍 い・じゅうにしちようかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る

重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、むくみ、体重の増加、冷汗が出る、出血、出血しやすい、発熱、寒気、突然の高熱、出血が止まりにくい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	めまい、気を失う、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	あごの痛み、鼻血
眼	視界の中に見づらい部分がある、視力の低下、目のかすみ、小さいゴミのようなものがみえる症状の悪化、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、咳と一緒に血が出る、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、歯ぐきの出血、喉の痛み、咳
胸部	息苦しい、息切れ、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、動悸、胸の不快感
腹部	腹痛、胃がむかむかする、食欲不振
手・足	左腕の痛み、突然片側の手足が動かしくくなる
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる
便	便に血が混じる、黒い便が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る

## 【この薬の形は？】

販売名	プレタール OD 錠 50mg	プレタール OD 錠 100mg
形状	円形の錠剤 	円形の割線入りの錠剤 
直径	7.0mm	9.0mm
厚さ	2.8mm	3.8mm
重さ	125mg	250mg
色	白色	白色
識別コード (錠剤に刻印されています)	—	OG18

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	プレタール OD 錠 50mg	プレタール OD 錠 100mg
有効成分	シロスタゾール	
添加剤	D-マンニトール、クロスポビドン、結晶セルロース、トウモロコシデンプン、アスパルテーム (L-フェニルアラニン化合物)、アルファー化デンプン、ステアリン酸マグネシウム	

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 大塚製薬株式会社 (<https://www.otsuka.co.jp>)

医薬情報センター

電話番号：0120-922-833

受付時間：月～金9：00～17：00

(土、日、祝日、休業日を除く)